

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |              |   |             |
|----------------|--------------|---|-------------|
| ○事業所名          | つぼみケア        |   |             |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 2月 7日  |   | 2026年 3月 7日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)       | 4 | (回答者数) 4    |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 2月 7日  |   | 2026年 3月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)       | 5 | (回答者数) 5    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 10日 |   |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|--|---|
| 1 | <b>医療的ケア児・重症心身障がい児への対応力</b><br>・人工呼吸器・経管栄養・吸引・導尿など医療的ケア児の受け入れ実績がある。<br>・保育士・看護師・リハビリ職など職種で支援し、緊急時対応やマニュアルを整備している。 | ・看護師を中心にした医療的ケア手順の共有<br>・職員への定期的な医療的ケア研修・ヒヤリハット共有<br>・主治医・訪問看護・保健師との情報共有 | ・医療的ケア児の個別マニュアル見直し<br>・医療機器トラブル対応訓練<br>・家庭とのケア方法の統一         |
| 2 | <b>個別支援計画に基づく支援の充実</b><br>・アセスメントを行い個別支援計画を作成している。<br>・5領域を意識した支援<br>・支援内容を日々記録して振り替えを行っている。                      | ・職員ミーティングで支援内容の共有<br>・利用児の日々の変化を記録・共有<br>・保護者との情報共有                      | ・アセスメントシートの充実<br>・コミュニケーション支援・スイッチ支援の導入<br>・個別支援計画の評価会議の定期化 |
| 3 | <b>保護者との連携</b><br>・送迎時に保護者と情報共有<br>・連絡帳で日々の様子を伝えている<br>・相談に柔軟に対応  | ・家庭での様子や困りごとを積極的に聞く<br>・写真付き活動報告<br>・保護者の負担軽減を意識した支援                     | ・保護者勉強会<br>・医療的ケア児の在宅ケア相談<br>・就学にむけての支援                     |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                              | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|---|--|---|
| 1 | <b>活動内容が固定化しやすい</b><br>・重症心身障がい児や医療的ケア児の利用が多いため、活動内容が感覚遊びや音楽活動に偏る傾向がある。 | ・利用児の身体状況や医療的ケアの必要性により活動が制限される。<br>・活動に使用する支援機器や教材が限られている。       | ・ICT機器やスイッチ玩具を活用した活動の導入<br>・多様な活動の検討等 機会の確保<br>・心身状況に配慮した安全な活動の実施             |
| 2 | <b>地域や関係機関との連携が十分ではない</b><br>・地域や支援センターとの交流や情報共有の機会が限られている。             | ・関係機関との情報交換の機会が少ない。<br>・地域交流活動の実施機会が少ない。<br>・日常業務が多く連携の時間確保が難しい。 | ・関係機関との連携強化、連携窓口の明確化<br>・定期的な情報共有の仕組みづくりや支援会議への参加<br>・地域資源の活用や地域イベント・交流活動への参加 |
| 3 | <b>職員の支援スキルに差がある</b><br>・職員の経験年数や専門性に差があり、支援方法や障がい理解にばらつきがみられることがある。    | ・医療的ケア児や重症心身障がい児の支援経験が少ない職員がいる。<br>・支援方法の共有機会が十分でない。             | ・職員が参加しやすい研修時間の確保<br>・支援マニュアルの整備<br>・定期的な振り返りの実施                              |